

辯護側文書第一四〇一F二號

野村發東郷宛一九四一年十一月七日第一〇五五號

本七日午前九時本使若杉帶同「ハル」長官（「バランタイン」同席）ト私宅ニ
ニ於テ會見シ政府ノ訓令ニ依リ大統領及貴長官ヘ日本ノ意嚮ト立場ヲ説明シ
日米關係ヲ急速妥結シタキ旨ヲ告ケタル處「ハル」ハ現在世界ノ情勢ハニツ
ノ勢力ヲ戰ヒ内執シモ速カニ解決シ得サルヲ以テ漸次「アナーキー」ノ混
亂狀態ニ入ルノ懼アルニ際シ日米兩國カ太平洋ニ於テ同シク平和ノ方策ヲ執
ルニ於テハ此ノ混亂狀態ヲ救ヒ得ヘシト述ヘタリ本使ヨリ御訓令ノ趣旨ニ基キ
一、三懸案中二案ハ既ニ大體了解シ得ヘク駐兵撤兵ニ關シテハ日本ハ内政上最
大限ノ讓歩ヲ爲スモノナルコト
ニ米國政府ハ日米親善ノ大局的見地ヨリ眞實ノ情勢ヲ達觀セラレ速カニ妥結
ニ到ランコトヲ切望ス
三、本國政府ハ本使ヨリ大統領及國務長官ニ充分日本ノ決意ト日本ノ立場ヲ説
明シ至急解決ヲ計ルヘキ（一語脱）ソ受ケタリ
四、日本ノ國情ハ六ヶ月後「インベーション」トナリ事態重大ナリト認メ

ラルルヲ以テ本交渉ノ速カナル成立ヲ熱望スル次第ナリ
 其又時局ノ重大ナルニ鑑ミ東京ニ於テモ作行的ニ話合ヲ爲ス筈ナリ
 ト説明シ我方ニ於テハ最大ノ友誼的精神ト互讓ノ誠意ヲ披瀝セル次第ナリ
 トテ御來示ノ對案ヲ提出シ米側カ大局的見地ヨリ考慮シ之ニ同意センコト
 ヲ求メタル處「ハル」ハ熱讀ノ上無差別待遇原則ノ項ニ付首肯シ斯クスル
 コトカ日本ニモ有利ナリトノ意ヲ洩ラシ又駐兵ニ付テハ單ニ撤兵ト駐兵カ
 如何ナル割合ニ當ルヘキヤト質問シタルノミニテ本使ヨリ大部分撤兵シ駐
 兵ハ一部分ニ過サルヘシト説明シ又本使ヨリ自衛權ニ付本日接到ノ御訓令
 ノ趣旨ニ依リ説明シ置キタルカ何レ研究ノ上回答スルコトトナリ追テ大總
 領ト會見ノ際尙詳細説明ノ上回答ヲ求ムルコトトセリ
 尙「ハル」ハ從來モ話セル通り太平洋平和維持ニ關スル日米間ノ會談ハ正
 式交渉ノ爲ニハ英、支、蘭等ノ關係國トモ協議ノ必要アリ又邦問題ニ付テ
 ハ支那トモ打合せ居ル旨ヲ洩ラシ「ハル」自身ノ思付トシテ若シ支那ノ最
 高權威者カ日本露府及國民ニ對シ支那ノ眞摯ナル友誼ト信任ヲ確言ヘ「プ
 レツジ」シ日支間ノ友好關係ノ回復ヲ希望スルニ於テハ日本ハ如何ニ考

フルヤト質問シタルニ付若シヨリ右ハ支那側ノ意嚮ヲ確メタル上ノ御話ナリ
ヤト質シタル處「ハル」ハ未タ支那側ト打合セタルモノニアラスシテ全ク自
分一個ノ考ナルカ若シ斯ノ如キコト行ハルルハ太平洋ノ平和維持ニ好箇ノ例
ヲ示シ世界ニ對スル好影響アルヘシト答ヘタルカ或ハ既ニ支那側ノ意嚮ヲ徵
セル結果ニハアラスヤト察セラルル節アリ何レニスルモ「ハル」ハ右ノ考ヲ
日本政府ニ傳ヘ其ノ意嚮ヲ問合サレタシトノコトニ付單ニ本使ニ於テ考慮ス
ヘシト答ヘ置キタリ（了）